

山形大学

令和4年度入学対象

データサイエンス マイスター 制度

これからの社会に必要なデータ活用のスキルを身につけよう！

山形大学では、データから目的に整合した情報を読み解き、データを適切に活用して課題解決に導くことができる人材の育成を目指しております。

本制度は、基盤共通教育と各学部の選択科目より、データサイエンスに関連する特定の科目から履修条件を満たした学生をデータサイエンスマイスターとして認定します。

認定基準をベーシック(リテラシーレベル)、アドバンスト(応用基礎レベル)の2段階を設置しました。各学部の専門分野に合わせて、誰でもデータサイエンスを基礎から学ぶことができます。

認定書を発行

認定条件を満たした学生に対して、データサイエンス教育研究推進センターより認定書を発行します

全学部生対象

所属学部を問わず、本学の学生であれば誰でも認定を受けることができます



Basic

ベーシック(リテラシーレベル)認定条件

下記の2科目4単位を修得することでデータサイエンスマイスター(ベーシック)を認定します

人文社会科学部
地域教育文化学部
医学部
工学部
農学部

理学部

開講時期

情報処理

[2単位]

情報処理、コンピュータ・リテラシー、セキュリティ

データサイエンスⅠ

[2単位]

データ、アルゴリズム、機械学習、自然言語処理、情報理論等

データ解析基礎(数理科学)

[2単位]

デジタルデータの種類・性質を理解して、現代社会を理解する上で必要不可欠なデジタルデータの扱い方を習得する

質・量的データ、平均、ばらつき、分布図、時系列データ

前期

基盤共通教育共通科目

後期

基盤共通教育教養科目(自然と科学)

合計2科目4単位を修得でベーシック(リテラシーレベル)を認定



アドバンスト(応用基礎レベル)認定条件

ベーシックの認定条件を満たした上で

下記1科目を修得することで、データサイエンスマイスター(アドバンスト)を認定します

人文社会科学部
地域教育文化学部
医学部
工学部
農学部

情報処理

[2単位]

情報処理、コンピュータ・リテラシー、セキュリティ

データ解析基礎(数理科学)

[2単位]

デジタルデータの種類・性質を理解して、現代社会を理解する上で必要不可欠なデジタルデータの扱い方を習得する

質・量的データ、平均、ばらつき、分布図、時系列データ

理学部

データサイエンスⅠ

[2単位]

データ、アルゴリズム、機械学習、自然言語処理、情報理論等

開講時期

前期

基盤共通教育共通科目

後期

基盤共通教育教養科目(自然と科学)

全学部共通

AI・データサイエンス要論(応用)

[2単位]

AI・データサイエンスの知識を様々な専門分野へ応用し(AI×専分野)、現実の課題解決、価値創造を行う上で必要な知識を習得する

アルゴリズム、数学、統計学、機械学習、Python

開講時期

後期

基盤共通教育教養科目(応用と学際)

合計3科目6単位を修得でアドバンスト(応用基礎レベル)を認定

履修推奨

アドバンスト(応用基礎レベル)では、データサイエンス関連の学部選択科目の修得を推奨します

選択科目一覧はQRコードからご覧ください



データサイエンスマイスター制度に関するお問合せ

山形大学データサイエンス教育研究推進センター

〒990-8560 山形市小白川町1-4-12

E-mail: yu-derp-info@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

HP: <https://www.yamagata-univ-derp.org/>

